

岩手・宮城県際ネットワーク

— 平成27年12月1日発行 — (担当公所：岩手県沿岸広域振興局) (第142号)

●編集・発行 地域づくり団体ネットワーク岩手・宮城県際交流会事務局

岩手県	県南広域振興局経営企画部	0197-22-2812	http://www.pref.iwate.jp/index.rbz
岩手県	沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター	0192-27-9911	http://www.pref.iwate.jp/index.rbz
宮城県	北部地方振興事務所栗原地域事務所商工・振興班	0228-22-2195	http://www.pref.miyagi.jp/nh-khsgsin/
宮城県	東部地方振興事務所登米地域事務所商工・振興班	0220-22-6123	http://www.pref.miyagi.jp/et-tmsgsin/
宮城県	気仙沼地方振興事務所 商工・振興班	0226-24-2593	http://www.pref.miyagi.jp/ks-tihouken/

圏域情報

◆◆◆◆ 岩手県沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター ◆◆◆◆ 大船渡復興東北三大祭りが開催されました

10月17日・18日の両日、大船渡市盛町で大船渡復興東北三大祭りが開催されました。

「被災地にまつりの力で活力を」という思いが込められたこの祭りは、東日本大震災津波後の平成23年から毎年開催され、東北を代表するお祭りが集結します。

今年は盛岡さんさ踊り、山形花笠踊り、秋田竿燈、仙台すずめ踊りなどの他、初となる韓国農楽など韓国からの団体も参加し、過去最多となる総勢約400人によるにぎやかな踊りで沿道を盛り上げました。

メインパレードの他に、プレイメントとして宮城県内の小中学生で結成された震災復興支援アイドルユニットの楽曲披露や、東京都の音楽劇を主体としたコンテンポラリーダンス集団「未國」など、開催地内外の人が携わり大船渡を盛り上げました。

復興に向け県を越え国を越えたこのお祭りは、沿道を埋めた多くの住民に感動と希望を与えてくれました。



地域コミュニティフォーラム開催

県南広域振興局とあしたの日本を創る県協議会では、10月29日(木)、地域コミュニティフォーラム「あしたの日本を創る県大会 in 金ケ崎」を金ケ崎町中央生涯教育センターで開催しました。

テーマは「人口減少に負けない地域をつくらう」。出席者が基調講演やパネルディスカッションを通して、地域活動や地域経営のあり方について考えました。

大会では、まちづくり団体、町内会、NPO 団体など120名が出席しました。また、同日公衆浴場「畑の沢鉱泉たまご湯」を運営している一関市千厩町「小梨天寿会」に対する内閣府「社会参加章」授与式が合わせて行われました。

パネルディスカッションは、「自発的、活動的な地域経営のあり方」をテーマに、自治(地域)協議会の役割などについて活発な意見交換が行われました。

パネリストは奥州市水沢南自治振興会事務局長の佐藤幸市さん、一関市藤沢町住民自治協議会会長の千田博さん、いわてNPO-NET サポート事務局長の菊池広人さん。コーディネーターにNPO いわて地域づくり支援センター常務理事の若菜千穂さん、アドバイザーには岩手県立大学の吉野英岐教授をお迎えしました。

このうち、一関市藤沢町住民自治協議会会長の千田博さんからは、「ボトムアップで地域づくりに取り組むのが本来の住民自治の姿。藤沢町では自治会や自治協議会それぞれが地域計画を作成している」と報告がありました。

人口減少に負けない地域に向けて、「地方創生は地域の中にある」ことを参加者に強く印象づける熱いフォーラムとなりました。



「活動拝見！地域づくり見学会」を開催しています！

「名前は知っているけど」「昔からあるよね」。地元で地域づくりに取り組んでいる団体が、具体的にどのような活動をしているのかについては、団体同士の間でも意外と知られていない場合があります。地域の身近な団体ほど、「知っているつもり」になりやすいのかもしれませんが。

そこで、みやぎ地域づくり団体栗原支部では、「活動拝見！地域づくり見学会」と題して、各会員団体を訪問し、活動の内容を視察させていただき活動を始めました。

第1回目は「くりはら花の会」を訪問しました。かつてはゴミがよく捨てられていた場所に、地元有志の方が花を植え始め、今では「市民の花畑」として整備されています。市の中心部から4kmほど離れた丘の上であり、花畑だけでなく、小さな沼や草原もあります。

周囲を散策した参加者からは、「近くにこんな素敵な場所があるのに、今まで知らなかった」「こんな活動をしている団体があるんだ」と驚きの声があがりました。



続く2回目は、「築館薬師太鼓奉賛会」の練習風景を拝見しました。まず、小学生による太鼓の練習を見学し、その後、参加者自身が太鼓を叩く体験をしました。すると、全然リズムが合わない…。小学生たちは一見簡単そうに叩いていましたが、そこに至るまでには、相当な練習の積み重ねがあったんですね。

その後、大人たちによる演奏を聴き、その迫力に圧倒されました。小学生で始めた子どもが、そのまま中学、高校、社会人になっても活動を継続する例も多いそうです。赤ちゃんを連れて練習に来ている社会人もおり、世代から世代へ、太鼓の技が受け継がれていく姿を垣間見ることができました。



栗原支部では、今後も月1回程度のペースで見学会を実施していきます。地域で汗を流している方々の活動を、みんなで実際に見てみませんか。

■問い合わせ先

みやぎ地域づくり団体協議会栗原支部
(事務局)

宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所
地方振興部商工・振興班内

電話：0228-22-2195

B-1 グランプリ in 十和田「とよま油麩井の会」出展!

10月3日(土)、10月4日(日)の2日間、青森県十和田市で開催された「第10回ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1 グランプリ in 十和田」に登米市の「とよま油麩井の会」が出展しました。

「とわだに愛(あい)にいこう」をテーマとした今大会は、ご当地グルメを通じて愛する「まち」を発信するため、全国から62団体が集まり、来場者数は2日間で延べ334,000人となりました。期間中は強風や雨に見舞われましたが、多くの来場者や出展団体関係者の熱気にあふれ、おおいに盛り上がりました。

今年で7回目の出展となる「とよま油麩井の会」では、油麩井のおいしさを知ってもらうとともに「登米市」を来場者に伝えるため、ハイカラさんに扮しての接客、さらに記念撮影用のパネルを設置し、お客様を楽しませていました。



また、昨年に引き続き登米(とよま)中学校の生徒が出展支援に駆けつけ、店舗入り口横に設置したステージでとよま噺子を披露したほか、販売補助や店舗入り口前での誘客など、油麩井の売り上げ・登米市のPRで活躍しました。

「登米ってどこにあるの?」「油麩ってなに?」といった声が聞こえ、多くの方に興味を持っていただくことができ、今大会を通し、登米市・油麩を伝えることができました。

登米市にお越しの際には、「おいしい」「ヘルシー」な油麩井をぜひご賞味ください。



■問い合わせ先

とよま油麩井の会事務局(海老名康和)

電話: 0220-52-2016

大規模トマト栽培施設が落成・稼働しました

9月3日（木）、気仙沼市本吉町小泉地区の、「農業生産法人 株式会社サンフレッシュ小泉農園」トマト栽培施設の落成式が開催されました。

同施設は、平成26年度東日本大震災農業生産対策交付金を活用して完成しました。幅100m、長さ200mという県内でも有数規模のハウスで、土を一切使わずに肥料を溶かした養液で栽培する方法を導入し、温度、湿度、二酸化炭素なども自動制御しています。

同施設では、8月に大玉トマト「桃太郎」の苗4万本以上を定植し、10月下旬から初出荷しております。このトマトは小泉地区がサーフィンスポットとして有名であることから「波乗りトマト とまたん」と名付けられ、気仙沼・仙台方面を中心に出荷されています。今後、来年7月まで約600トンの出荷を見込んでいます。

同社は今年8月、復興特区法に基づく指定事業者指定されました。農業振興や地域振興に貢献するだけでなく、被災して農業を続けられなくなった地元の農家等の雇用の受け皿としても期待されており、これまで34人を採用しました。今後は、6次産業化を推進するための取組みや、地域の子どもを受け入れる農業体験なども計画しています。

「サンフレッシュ小泉農園」が小泉地区だけでなく、気仙沼・本吉地域の農業や雇用の新たな第一歩となることが期待されます。



■問い合わせ先

農業生産法人 株式会社サンフレッシュ小泉農園

(気仙沼市本吉町北明戸7-3)

電話：0226-28-9158

◇◆◆◇ 宮城県東部地方振興事務所
登米地域事務所 ◇◆◆◇
「もくもくランド初売り」を開催します

平成 28 年 1 月 2 日（土）、1 月 3 日（日）の 2 日間、登米市津山町の道の駅津山もくもくランドで「もくもくランド初売り」を開催します。当日は店舗での初売りだけでなく、ついた餅が提供される「餅つき」、無病息災を祈る「獅子舞」、さらに「大福引大会」も行われ、毎年多くの人でにぎわいます。

お正月はぜひ、もくもくランドで楽しいひとときをお過ごし下さい。



■日時

平成 28 年 1 月 2 日（土）、1 月 3 日（日）
午前 9 時～午後 5 時

■場所

道の駅津山もくもくランド
（登米市津山町横山字細屋 26-1）

■問い合わせ先

道の駅津山 もくもくランド
電話：0225-69-2341

◇◆◆◇ 宮城県東部地方振興事務所
登米地域事務所 ◇◆◆◇
「石越冬のまつり」を開催します

平成 28 年 1 月 14 日（木）、「石越冬のまつり」を開催します。当日は、「どんと祭」や地域商店の協賛による「抽選会」、さらにメインイベントとして「花火」の打ち上げを実施します。およそ 1,000 発の花火が打ち上がり、冬の澄んだ夜空を彩ります。

珍しい冬の花火を楽しみに、ぜひお越し下さい。



■日時

平成 28 年 1 月 14 日（木）
午後 4 時～午後 8 時

■場所

石越総合運動公園特設会場
（登米市石越町南郷字矢作 122 番地 1）

■問い合わせ先

石越冬のまつり奉賛会事務局
（登米中央商工会石越支所）
電話：0228-34-2064

◆◆◆◆ 宮城県気仙沼地方振興事務所 ◆◆◆◆
ONE-LINE 気仙沼イルミネーションプロジェクト
が開催されます

当イベントは震災の影響で「光を失った気仙沼湾に明かりを灯そう」という思いから始まり、今年で4回目を迎えます。

12月5日(土)午後7時からの点灯式では、歌手の May J. さんによるチャリティーライブが開催されるほか、6日(日)にはライブや伝統芸能のステージ、飲食ブースを含めたクリスマスマーケットが開催されます。

気仙沼内湾や田中前大通りに広がるクリスマスイルミネーションが、気仙沼の街に明かりを灯します。



※過去の点灯式の様子

■日時

平成27年12月5日(土)から
平成28年1月15日(金)まで
点灯時間：午後6時～午後10時

■場所

気仙沼市港町エリア、田中前エリア

■問い合わせ先

ONE-LINE 実行委員会
電話：070-6486-3108
URL：<http://kesenuma-christmas.com/>
<http://ja-jp.facebook.com/kesenuma1225/>

◆◆◆◆ 宮城県気仙沼地方振興事務所 ◆◆◆◆
志津川湾おすばでまつり福興市が開催されます

12月29日(火)、南三陸町の年の瀬恒例イベントである「おすばでまつり福興市」が開催されます。

会場では、アワビ・タコ・マグロなどの海産物を始め、年越しの食材が浜値で多数販売されます。発送受付ブースも設置され、大量に購入しても、その場で商品を送ることもできます。

年越し準備のお買い物に、会場にぜひお越しください。



■日時

平成27年12月29日(火)
午前8時30分～午後1時30分

■場所

ベイサイドアリーナ特設会場
(南三陸町志津川字沼田56)

■問い合わせ先

南三陸福興市実行委員会
電話：090-7077-2550
URL：<http://www.m-kankou.jp/>

◇◆◆◇ 宮城県北部地方振興事務所
栗原地域事務所 ◇◆◆◇
伊豆沼・内沼自然体験講座
「伊豆沼のガンの飛び立ち観察会」

ラムサール条約登録湿地である伊豆沼では、ガンの飛び立ち観察会が開催されます。伊豆沼で越冬する数万羽のマガンは、早朝一斉に飛び立ち、えさを求めて周辺の水田に向かいます。

この観察会では、朝日を受けて一斉にマガンが飛び立っていく、美しく、雄大な光景を見ることができます。また、飛び立つ時の羽音と鳴き声は、荘厳で迫力満点です。

観察会のあとは、伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター内のレストラン「四季味」で栗原の食材を生かしたおいしい朝食をいただきます。

感動の瞬間を、ぜひご覧ください。



■日時

平成 28 年 1 月 16 日（土）
午前 6 時 00 分～午前 8 時 30 分

■対象

小学生以上（小学生は保護者とご一緒に）
先着 20 名

■参加費

1,000 円（朝食代・バス代・保険料）

■場所・問い合わせ先

宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター
電話：0228-33-2216

E-mail：izunuma@circus.ocn.ne.jp

HP：<http://izunuma.org/>